



e-Administration
Advisor Club

会報 わかくさ

第14号

2015年 10 月発行

自治体や中小企業のさまざまなITの
お悩みをベテラン集団が解決

<http://eaac.sakura.ne.jp/>

わかくさ抄

～ ICT(情報通信技術)と地域社会 ～

1. 広がるネット社会

スマートフォンやタブレットの急速な普及は、情報伝達のあり方を大きく変えています。交流サイトが重要なビジネスツールになり、SNS という新たな価値を生み出し、アクティブなコミュニケーション手段として、世界中で爆発的に普及して、情報提供の社会インフラのメディアとして定着しています。スマホやゲーム機の急速な普及は、低年齢層へと広がりを見せています。学校教育において、「ICT を活用した教育」は、学校教育の質を高める上で重要になっています。教育界は、「ICT の利活用」によって、授業革新を図ろうとしています。自治体では、積極的に ICT 教育の推進と ICT 教育の研究・研修を進めています。

2. 新情報格差の広がり

このように、ICT の恩恵を享受できるようになりましたが、一方で、ICT の負の側面も出てきています。コンピュータが全国に広がり、地域間、世代間、家庭環境の違いによる情報の格差は見逃せない課題になっています。近年、シニア層において、ICT を活用したアクティブシニアが増えてきましたが、一方で、ICT には無縁の方もおられます。学校教育において、教職員の負担が多くなって、学校における ICT の環境整備や教職員間の ICT 活用指導力の差など、地域や学校間における相当の格差が見られます。インターネットの危険性を学び、ICT を活用することによる「ICT の負の側面」に対する対策が必要です。

「人との付き合い方が変わる」、「情報モラルの欠如による悪質性」等について、家庭を含めた子供達への教育が問われています。中学生にもなると、ICT に強い生徒もでてきて、学校では手に負えない事態を引き起こします。小学校において、十分な情報モラルの教育が必要です。

3. 地域の教育力

地域を元気にするには、これらの情報の格差を解消して、情報を共有し、感情を共有し、世代間の絆を深めることでしょうか。市民や地域活動団体の情報発信力を高め、子ども達の ICT 活用能力を高めて、学校および地域社会の連携を強化し、教員がより教育活動に力を注ぐことができるように、学校教育の質を高め、地域社会の教育力の向上に取り組む必要があります。地域住民が多様な体験、経験を若い世代に伝える教育の場を作り、地域の人材が参画して、地域の教育力を高めて、地域を元気にすることが望まれます。e-AAC は、これらの活動に参加して、地域が元気になるように努めていきます。



e-AAC 理事長
谷川 義明

今月のピックアップ！

『平成 27 年度 子どもゆめ基金』 に提案し、採択される

e-AAC の活動が評価され、2 年連続の採択になりました。

- ・テーマ名：パソコン(タブレット、スマホ)の仕組み
(パソコンの主なパーツから構造まで)
- ・実施場所：奈良市三笠公民館、他 2 カ所
- ・期間：平成 27 年 8 月 1～平成 28 年 3 月 31 日

『(一般財団法人) 草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 Grafsec-J』の全国会員として認められました

これまでの e-AAC の「スマホとモラル」の啓発活動が評価されて「Grafsec-J」の全国会員として認められました。

【“Grafsec-J”の活動の理念・目的】

- ・セキュリティ、モラル、消費者問題についての啓発活動
- ・地域活動を継続的、効果的に実施するための支援
- ・課題の共有、地域の新たな課題の収集

『平成 27 年度奈良県地域貢献活動支援事業』 に提案し、採択される

昨年に引き続き、今年も e-AAC 提案の事業が採択され、橿原市教育委員会の協力を得て推進することになりました。

- ・事業名：親子で学ぶパソコンの構造・機能
- ・協働事業：橿原市教育委員会社会教育課
- ・実施場所：橿原市の公民館 4 カ所
- ・期間：平成 27 年 9 月 1 日
～平成 28 年 2 月 28 日



【西大寺北小 パソコンの分解】

『奈良市 大宮祭』に参加しました

- ・e-AAC のテーマ：
みんなで守るスマホの約束
“スマホの5つの約束”
- ・日時：
平成 27 年 7 月 25 日 14:00～21:00
- ・e-AAC のテント訪問者数：
子供 240 人、大人も含めて 500 人以上
の方に訪問していただきました。



「第1部会」からの報告 自治体情報化支援

第1部会では自治体会員を定期的に訪問して、行政の情報化支援を行っています。

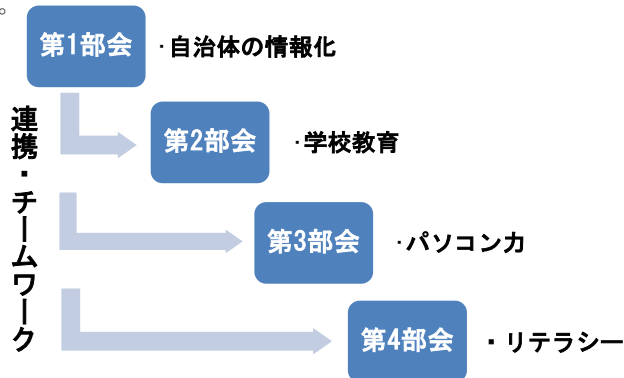
1. 新自治体会員

橿原市が、平成 27 年 4 月より e-AAC の自治体会員となり、自治体会員は 7 自治体になりました。定期的に巡回訪問して、ちょっとアドバイスをしています。これをきっかけに、e-AAC の提案が、奈良県地域貢献活動支援事業に採択され、橿原市教育委員会との協働事業を行うことになりました。これからも e-AAC の実績を踏まえ、色々な提案をしていく予定です。

2. 第1部会の役割

(1) 自治体会員との連携

第1部会が自治体会員と連携し、e-AAC の新規テーマを発掘する役割を担っています。すなわち第1部会が旗艦の役割を果たし、他の部会との連携・チームワークによって e-AAC として活動していきます。



(2) ちょっとアドバイス

- 自治体会員への IT 巡回サービスを実施
 - 天理市
 - 葛城市
 - 大和郡山市
 - 大和高田市
 - 奈良市(準会員)
- テーマの例として:マイナンバーシステムの評価方法、地域活性化事業、セキュリティポリシーの見直しなど

3. 地域貢献活動

(1) 天理市地域情報化計画新支援市民対象事業

- 目的: インターネットの楽しみ方、活かし方サロン
- 概要: インターネットに広がる豊富な情報やツールを活用して無理なく住民力を高める目的で 3 つのプログラムを行う。代表的なインターネットサービスに触れその有意義性を理解し自発的に活用する姿勢を要請する。
- 対象: 天理市民

(2) 橿原市「親子で学ぶパソコンの仕組み」

- 「奈良県地域貢献活動支援事業」に採択
- 期間: 27 年 10 月～28 年 2 月
- 第 2 部会の取り組み
- 協働: 橿原市教育委員会社会教育課

- 期間: 平成 27 年 9 月 1 日～28 年 2 月 28 日
- (3) 地域住民や自治体が主催する活動
 - 「子どもゆめ基金」に採択(第 2 部会の取組み)
 - 概要: 親子で学ぶパソコンの機能
 - 場所: 三笠公民館 他 2 ヶ所
 - 期間: 平成 27 年 9 月 1 日～28 年 3 月 31 日

(4) 奈良市大宮祭(第 2 部会の取組み)

- 主催: 大宮地区社会福祉協議会
- 概要: みんなで守るスマホの約束
- 実施日: 7 月 25 日



[奈良市大宮祭り e-AAC コーナー]

(5) 三笠公民館 40 周年まつり

- 10 月 17 日 (予定)
- 第 2 部会の取組み
- 主催: 三笠グループ協議会

4. 大和高田市「広報誌」e-AAC の頁を紹介

大和高田市からの要請で、市民の情報リテラシー向上のため、ICT の市民向け講座を広報誌(しみんだより)に、昨年 8 月号より連載しています。内容については各部会の活動の中で、市民の関心の高いと思われるものを選んで投稿しています。

掲載月	題名
H26/8 月	ネット被害から子どもを守る活動
9, 10, 11 月	～省略～
12 月	年賀状作りを楽しむ
H27/1 月	ネット時代の子どもたち/学校教育
2 月	ネット時代の子供達/タブレットと電子黒板
3 月	SNS が地域社会を考える (上)
4 月	SNS が地域社会を考える (中)
5 月	SNS が地域社会を考える (下)
6 月	マイナンバーの解説 I
7 月	マイナンバーの解説 II
8 月	スマホとモラル
9 月	Wi-Fi について
10 月	広がるネット社会
11 月	ICT と地域社会 (予定)

「第2部会」からの報告 学校教育情報化支援

奈良市の学校でタブレット反転授業が始まりました。「読み、書き、そろばん」授業の基本はこれからも変わることはありません。e-AACとして少しでも力になればとタブレット授業支援に向けて前向きに取り組んでいます。

■ 平成 27 年度「学校 ICT 支援」実績

(実施月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
クラブ活動		3	7			5	3	6	1	4	3		32
授業支援							1						1
ひまわり学級			1	1		2	1						5
スマホ講座	2	1	11	15	1	1	8	2	1	5			47
ものづくり教室									1		3		4
計	2	4	19	16	1	8	13	8	3	9	6	0	89
奈良市教	・佐保台小 ・西大寺北小 ・伏見小 ・伏見南小 ・大安寺小 ・富雄南小 ・朱雀高校 ・王子工業												
奈良市以外	・柳本小 ・下田小・真美ヶ丘第一小 ・高田盤園小 ・生駒北中 ・生駒小、他												

■ スマホ・ケータイ啓発出前講座【上期実績】30回 3,654名

1. 奈良コンソーシアム助成金講座 10回 1,065名

月/日	実施校	月/日	実施校
1 6/19	郡山西中	6 7/13	生駒大瀬中
2 6/26	郡山南小	7 7/14	真美ヶ丘第2小
3 7/19	生駒北中	8 7/16	纏向小
4 7/10	新庄中	9 8/10	宇陀市榛原中
5 7/13	生駒大瀬中	10 9/10	真美ヶ丘第一小

2. 遊戯協同組合助成金講座 14回 1,151名

月/日	実施校	月/日	実施校
1 6/18	鹿ノ台小-1	8 7/7	高田浮孔小-2
2 "	鹿ノ台小-2	9 7/8	伏見南小
3 9/19	矢田小	10 7/15	高田盤園小
4 6/26	郡山南小	11 7/25	大宮まつり-1
5 6/30	帯解小-1	12 "	" -2
6 "	" -2	13 "	" -3
7 7/7	高田浮孔小-1	14 "	" -4

3. ドコモ助成金による出前講座 6回 1,452名

月/日	実施校	月/日	実施校
1 4/15	聖心学園中等部	4 6/3	王寺工業高
2 4/16	真美ヶ丘中	5 6/12	室生中
3 5/15	安堵中	6 6/16	下田小



■ スマホ・ケータイ啓発出前講座【下期予定】:17回

2. 奈良コンソーシアム助成金講座 10回

月/日	実施校	月/日	実施校
1 10/5	大安寺小	6 12/14	生駒南小
2 10/8	大宮小	7 1/14	新庄小
3 10/27	新庄北	8 1/15	富雄南小
4 11/12	富雄中	9 1/27	朱雀高 2/9
5 11/19	郡山北小	10 2/9	広陵東小

1. 遊戯協同組合助成金講座 5回

	月/日	実施校		月/日	実施校
1	10/8	大宮小	4	1/22	都跡小-1
2	10/15	矢田小 児童	5	"	都跡小-2
3	10/16	天理柳本小	6		

3. e-AAC 独自講座 2回

	月/日	実施校		月/日	実施校
1	10/2	狭山町狭山東小-1	4		
2	"	"	-2	5	

■ 「子どもゆめ基金 整理番号:1522175」助成事業

	月/日	会場	テーマ
1	10/17(土)	三笠公民館	親子「パソコン教室」
2		その他公民館	調整中
3		その他公民館	調整中

■ 奈良県地域貢献活性化助成金授業

	月/日	会場	テーマ
1	10/7(土)	真菅公民館	親子で「パソコン構造と機能を学ぶ」
2	11/21(土)	耳成公民館	親子で「パソコン構造と機能を学ぶ」
3	調整中	畝傍公民館	親子で「パソコン構造と機能を学ぶ」
4	調整中	香久山公民館	親子で「パソコン構造と機能を学ぶ」

■ ドコモ市民活動「こども分野」助成事業 27年度報告

計画	H26/12	H27/1	2	3	4	5	6	7	8~11	計
スマホ講座	5	2		1	2	1	3		0	14回
特別学級		1	2					2	1	6回
	*ドコモ事業6回完了 残り2回:e-AAC事業 2 2回									

■ タブレット授業研究会 *タブレット授業始まる

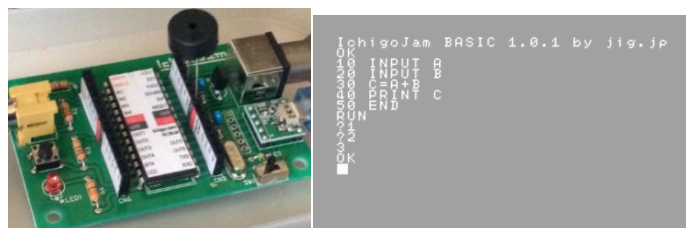
実施校	実施方法(授業支援/パソコンクラブ他)
興東中学校	タブレット、「反転授業」9/1~ 生徒タブレット自宅持ち帰り
西大寺北小学校	<ul style="list-style-type: none"> パソコン教室、全数タブレットに変わる 校内持ち出し 3年:タブレットの起動終了操作 ひまわり学級:タブレットの起動終了操作 パソコンクラブ:撮影画像4枚をムービーメーカーで動画編集

■ 英語リスニング教材の検討

- 改訂版「マーキーことば教室」の確認と検討
- 勉強会の開催
 - 改訂版「マーキーことば教室」勉強会の実施
- 中学校英語の先生にデモを実施
 - 9月:三笠中、英語担当中西先生訪問 概要の説明
 - 10月:中西先生再度訪問、最新版「マーキーことば教室プレゼン」

■ 子どもパソコンの研究

- 「いちごジャム」の研究
- 橿原市教育委員会の提案として、小学校から1件相談が入っています。



【パソコン基板】

【いちごジャム】

「第3部会」からの報告 パソコン研修

パソコン教室では、受託事業と自主事業の二本立てで推進中です。受託事業の専門研修では、新たな委託先として上期には生駒市から、下期には奈良市企業局、天理市から依頼がありました。シニア対象を中心としたパソコン入門教室では、受講者数が頭打ち傾向にあり、中級講座への変更、及び新たな中級教室の開催を行っております。

■ 受託『パソコン教室』

1. 奈良県市町村職員パソコン研修

・9月の実施状況

アクセス基礎	9/1~2、 9/7~ 8の 2コース	定員：30名
アクセス応用	9/11~14の 1コース	定員：30名
エクセル応用	9/3~4、 9/9~10の 2コース	定員：30名
パワーポイント基礎	9/15~16の 1コース	定員：30名

本年度はアクセスの基礎コースの講師を新たに養成しました。エクセル応用の募集で対象者の文言を変更した結果、昨年では見られた初心者は見当たりませんでした。

・下期の予定

アクセス基礎、エクセル応用は下期2月に各2コース実施予定です(昨年度は各1コース)。エクセル応用では従来のコースに追加して、マクロ強化コースを実施する予定です(合計2コース)。

2. 橿原市耳成地区公民館パソコン教室

4~8月及び10月~2月 第2、第4土曜日	午前の部	パソコン応用講座
	午後の部	何でも相談

耳成地区公民館のご協力が大きく、8回シリーズの応用講座を実施しました。

3. 天理市パソコン教室

天理市では、公民館を一巡するパソコン教室を開催しており、定員25名の募集に対して、毎回2~3倍の応募者から抽選により受講者を選定しています。6月1日から6月30日までは丹波市公民館、10月1日から10月30日は、柳本公民館にて実施予定です。各公民館共に6回のパソコン入門講座を行ないます。

4. NTT 電友会パソコン教室

耳成地区公民館と大安寺ビルにて実施。耳成地区公民館ではパソコン応用講座を実施しました(6回コース)。応募者が減少傾向にあり、対策として従来の初心者コースから応用コースに変更しました。大安寺ビルでは電友会奈良支部の情報交換の場としてFacebookの活用を図ることを目的に2日間コースを2回実施しました。電友会奈良支部関係者の会員勧誘の協力で受講者を確保頂いていますが、毎回参加者募集が厳しくなっている状況です。

5. まほろばソムリエの会パソコン教室

プレゼンテーション技術習得のためのパソコン教室を6~9月に大宮事務所にて全10回開催。パワーポイント使用してのプレゼンテーションを実施するためのパソコン入門、ワード入門、写真などを含めて実施しました。

6. 生駒市社会福祉協議会「パソコンサロン」

引きこもりの方を対象にパソコン教室を8~9月に計6回実施しました。1回目では受講者の要望を聞き、2回目以降は受講者に合わせた講義内容になるように努めました。

■ e-AAC 主催『パソコン教室』

各教室共に受講者確保が課題になっています。一方、広報誌に申し込み案内を掲載頂いた天理中級教室、高田教室は受講者が多く、広報の威力を再認識しました。

1. 大宮教室：e-AAC 大宮事務所

- ・土曜パソコン教室(パソコン初心者向け) 第1, 3土曜日
- ・パソコン入門、ワード、エクセル、デジカメ、インターネットなど10回コース

2. 大宮事務所「何でも相談」「訪問ヘルプ」

毎週、月曜日~金曜日まで実施

3. 高田教室：中和労働会館(水曜日)

- ・パソコン教室(パソコン初心者向け)1,3水曜日
- ・パソコン入門、ワード、エクセル、デジカメ、インターネットなど10回コース
- ・「何でも相談」(パソコン教室開催の午後実施)

4. 学園前教室：西部公民館、大和文華館(木曜日)

- ・毎週実施
- ・専門コース：パソコン・ワード基礎、写真など
- ・その他：趣味の会

5. 天理中級教室

7月10日から8月28日まで天理市パソコン教室(初心者教室)の受講者を中心に、新たに自主事業として中級講座(6回コース)を実施しました。下期にも実施します。



[自主事業 天理中級パソコン教室]

■ 下期予定の新規教室

1. 天理市ハローワーク教室

就業希望者を対象にワード・エクセル6日間コースを予定しています。

2. 奈良市企業局

職員を対象にエクセル応用講座(2回×2日コース)、ワード基礎講座・エクセル基礎講座・パワーポイント基礎講座(各1回×1日コース)を実施する予定です。

「第4部会」からの報告

e-AAC
ワークショップ

平成 27 年 5 月 27 日、6 月 9 日 の 2 日間

『情報セキュリティ講座』を開催

第 1 部

『みんなで考えよう！スマホの使い方』

5 月 27 日（水） 於：奈良県文化会館



【『みんなで考えよう！スマホの使い方』シンポジウム会場】

▶ 基調講演

「奈良県で取り組む青少年のネットスマホ問題」
◎ 帝塚山大学経営学部教授 日置慎治 氏

▶ 講演 2

「LINE 安心・安全なネット利用」
◎ LINE 株式会社 高橋誠 氏

▶ 講演 3

「NTT ドコモ スマホ・ケータイ安全教室
～フィルタリングが鍵～」
◎ NTT ドコモ スマホ・ケータイ安全教室 出口郁子 氏

▶ パネルディスカッション

「みんなで考えよう！スマホの使い方」

コーディネーター:

◎ 帝塚山大学経営学部教授 日置慎治 氏

パネリスト:

◎ 奈良県青少年・生涯学習課課長補佐 末武正之 氏

◎ 奈良市教育委員会いじめ対策生徒指導室室長 坂本静泰 氏

◎ LINE 株式会社 高橋誠氏

◎ 株式会社 NTT ドコモ関西支社企画総務部広報室長 大下哲生 氏

◎ e-AAC 会員 松田麻由子 氏



【パネルディスカッション】

各講師からいろいろな意見や提案が出たが、特に「ルール作りの現状はどうか」については、奈良県では高校生が中心になって「インターネット セルフルールブック」という小冊子を作り、県内すべての学校へ

配布した。これを参考にして生徒会などでルールの作成を進めている学校もある。子どもたちのなかでも、ルールがあったほうが良いと考える人の比率が高くなってきているという紹介があった。結局、ネット社会に没頭することなく、リアル社会の中で付き合いができることが重要である。そのための「自己判断力」を養うことが大切であって、今後も県全体での取り組みが必要不可欠あるとのことだった。

第 2 部

『今、求められる情報セキュリティとは！』

6 月 9 日（火）

於：奈良市ボランティアインフォメーションセンター

▶ 講演 1

「パーソナルデータの利活用と保護の動向」

◎ 奈良工業高等専門学校情報工学科 准教授 岡村真吾 氏

▶ 講演 2

「組織における情報セキュリティ～暗号学とからめて～」

◎ 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科 准教授 猪俣 敦夫 氏

▶ 講演 3

「サービス利用者への情報セキュリティ対策」

◎ 大阪大学大学院情報科学研究科 助教 矢内直人 氏

▶ 講演 4

「サイバー犯罪の現状」

◎ 奈良県警察本部生活安全部 佐竹伸治 氏



【『今、求められる情報セキュリティとは！』セミナー会場】

パーソナルデータの利活用に対する期待が高まっている中、一方で、個人情報漏えい等が多々発生しており、個人情報やプライバシーの保護がより一層求められている。近々予定されているマイナンバー社会保障・税番号制度の導入や個人情報保護法の改正など、パーソナルデータの利活用と保護についての動向について詳しく解説された。またサイバー犯罪に会わないために下記のような注意喚起をされた。

1. 個人情報をしっかり管理する。
2. ID/パスワードをしっかりと管理し使い回しをしない。
3. 不審なメールは開かない。リンクや添付ファイルも同様に注意。
4. パソコンの OS やアプリを最新の状態にする。
5. セキュリティ対策ソフトを導入しパターンファイルを更新する。
6. Wi-Fi、ブロードバンドのセキュリティをしっかりとやって踏み台にされないようにする。

また、当講演開催直前に“日本年金機構において職員の端末に対する外部からのウイルスメールによる不正アクセスにより、個人情報の一部が外部に流出したことが判明、流出した情報は約 125 万件と考えられる。”との報道があり、このような大きな事件発生のタイミングと重なり、当該講演会はより関心の高いセミナーとなった。質疑応答の中で常日頃から最悪のシミュレーションを行い、事故を発生させないようにトレーニングすることが重要であるとの意見があった。

事務局からの報告

Grafsec-J

(一般財団法人) 草の根サイバー セキュリティ運動全国連絡会

- e-AAC が、全国会員として認められました。
- 活動内容は、地域における情報セキュリティ、情報モラルの意識の向上

NPO 関連行事

1. 協働推進セミナー

- 共催: 奈良県協働推進課、中間支援 NPO 連絡会議
- 開催: 8/24 奈良県創業福祉センター (橿原市)
- 開催: 8/27 奈良県文化会館 (奈良市)
- e-AAC: 地域活動支援事業の成果発表

2. 奈良市 NPO 代表者会議

- 主催: 奈良市社会福祉協議会
- e-AAC: 定例会議メンバー

e-AAC 平成 27 年総会 (平成 27 年 6 月 21 日)

第 1 部 講演会

講師: 小山正樹氏 e-AAC 副理事長

演題: 『囲碁とゴルフと IT と』

- インターネット囲碁: インターネットの碁会所を作るのは結構難しい。リアルタイムでクライアントとサーバを接続する必要がある。
- コンピュータ碁: 最近、囲碁、将棋でコンピュータを駆使した対戦ゲームソフトが巷の話題になっている。
- 人間同士の囲碁対局について: プロになるためには 4 歳から始める必要がある。図形認識が重要である。
- ゴルフについて: 他人との戦いではなく、自分との戦いである。年をとってもできる。精神がスコアにかなり影響する。など、非常にユニークなお話であった。



[第 1 部 講演会]

第 2 部 第 11 回通常総会

講演会終了後、第 11 回総会を開催した。出席者は 31 名であった。

- 第 1 号議案 平成 26 年度事業報告、
- 第 2 号議案 平成 27 年度事業計画
- 第 3 号議案 理事の改選

第 3 部 懇親会

総会終了後、懇親会を行い、会員のお互いの親交を深めることができました。



[第 3 部 e-AAC 懇親会]



[第 2 部 第 11 回通常総会]

☆編集後記☆

先日、総務省から「国勢調査のオンライン調査利用状況」の報告がありました。それによりますと、全国平均は 36.9%で奈良県は 45%になっています。小生もその一人に含まれていますが、世帯主として多い高齢者にもパソコン・インターネットがますます身近な道具として普及し続けている結果ではないでしょうか。ただ、その便利さの裏にはネットバンキングの不正使用をはじめ、情報の漏洩など、負の部分があることを知り、それが何であるのか正しい知識をしっかりと持つ必要があります。この周知のために、ICT に長い経験を積み上げてきた当 e-AAC のメンバーの活躍が求められていると思います。(Masaharu SATO)

e-AAC 会員募集

- ◎ 正会員
- ◎ 個人会員
- ◎ 賛助会員
- ◎ 自治体会員

会員皆様からのご紹介・勧誘をお待ちしています。特に、企業・団体・機関の会員を増やしていきたいと思えます。事務局までご連絡ください。

Tel: 0742-36-8250
e-mail: e-aac@nifty.com

発行

特定非営利活動法人
電子自治体アドバイザークラブ(e-AAC)

編集

e-AAC 編集部
(ご連絡先) e-mail: e-aac@nifty.com
ホームページ: http://eaac.sakura.ne.jp/

協賛団体



南都銀行

